CG-WLBARGSX
CG-WLBARGSX-P
CG-WLBARGSX-U

お使いの手引き

Y613-12423-00 Rev.A

PART1 お使いの前に

付属品の確認

各部の名称と機能

PART2 設定する

ルータをモデムに接続する

無線LANアダプタのインストール

ルータをお使いの環境にあわせて設定する

マルチAP機能を使う

トラブル解決と Q&A

無線LANのセキュリティは設定できるの？

ルータを無線アクセスポイントとして使用できないの？

接続するすべてのパソコンもルータの設定をしなければならないの？

コレガ製品以外の無線LANアダプタは使えないの？

無線LAN内蔵のパソコンからは接続できないの？

ルータを工場出荷時の状態に戻せますか？

もっと詳しい取扱説明書はないの？

など

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた製品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠警告 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

この記号は警告・注意を喚起するための記号です。記号の中または近くに具体的な警告・注意事項が示されています。

例）「発火注意」

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例） 「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例） 「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。

異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。

必ず付属の専用ACアダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。

本商品付属以外のACアダプタ（または電源ケーブル）の使用は火災、感電、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル（またはACアダプタ）をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。

本商品（ACアダプタ含む）は風通しの悪い場所に設置しないでください。

過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

本商品（ACアダプタ含む）を分解や改造はしないでください。

感電、火災、けが、故障の原因となります。

本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

煙が出たり、へんな臭いがしたら使用を中止し、ACコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。

電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。

本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。

換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。

本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- 壁の中などお手入れが不可能な場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品(ACアダプタ含む)にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

落雷による感電の原因となります。

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となることがあります。

無線製品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず本書裏面をお読みください。

・心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

・医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

・電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の製品仕様に記載されている使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、本書に記載されている連絡先にご連絡いた　だき、混信回避のための処置（例：パーティションの設置など）についてご相談ください。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コレガサポートセンタへお問い合わせください。

■セキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、

・ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報

・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

・コンピュータウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本書の読み方

●記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。
	補足事項や参考となる情報を説明しています。

●表記について

「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　　　]	[　　　]で囲んである文字は画面上のボタンを示します。 例： OK → [OK]

●正式名称について

本書で使用しているソフトウェア名の正式名称は以下のとおりです。

Windows .... Microsoft® Windows® Operating system
Windows Vista .... Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、Microsoft® Windows Vista™ BusinessおよびMicrosoft® Windows Vista™ Ultimate
Windows XP .... Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000 .... Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows Me .... Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system
Windows 98SE .... Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system

●イラスト、画面について

本書に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

付属品の確認

まずはじめに次のものが同梱されていることを確認してください。万が一、欠品･不良などがございましたらお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□ CG-WLBARGSX 本体　□ AC アダプタ　□ LAN ケーブル
□ CG-WLCB54GSX または CG-WLUSB2GS（セット品のみ付属）
□ユーティリティディスク（CD-ROM：セット品のみ付属）
□お使いの手引き（本書）　□電波干渉注意ラベル　□製品保証書

各部の名称と機能

● CG-WLBARGSX

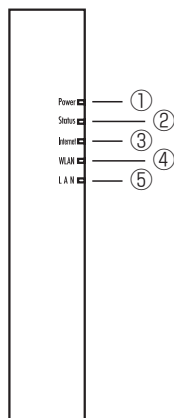
■前面

① Power LED（青）
点灯：本商品の電源が入っています。
消灯：電源が入っていません。

② Status LED（青）
点灯：セルフテスト中です。
消灯：本商品は正常に動作しています。

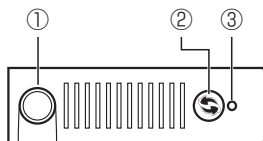
③ Internet LED（青）
点灯：インターネットに接続しています。
点滅：接続に失敗しています（PPPoE 接続時のみ）。
消灯：ルータ機能を無効にしているか、インターネットに接続していない状態です。

④ WLAN LED（青）
無線通信が可能な状態のとき点滅します。

⑤ LAN LED（青）
本体背面の１～４のいずれかのLANポートが接続されているときに点灯します。

■上面

①アンテナ（SMA コネクタ）
電波の送受信部です。別売のオプショナルアンテナを取り付けることもできます。

② WPS ボタン
WPS（Wi-Fi Protected Setup）接続するためのボタンです。

③ WPS LED（緑）
WPS の状態が表示されます。
点滅：WPS を設定中です。
消灯：WPS が動作中または未設定です。

■背面

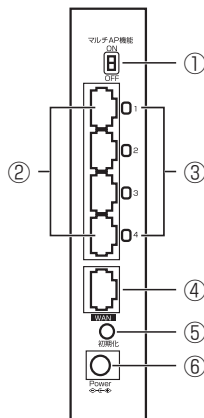
①マルチ AP 機能スイッチ
SSIDを2つに分け、無線のセキュリティ設定をそれぞれ設定することができます。

② LAN ポート
パソコンやハブを接続するためのポートです。

③ LAN ポート LED（緑）
LAN ポートの状態が表示されます。
点灯：ケーブルが正常につながっています。
点滅：データ通信中です。
消灯：ケーブルがつながっていません。

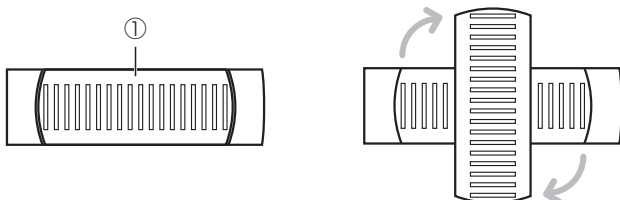
④ WAN ポート
本商品とモデム、またはメディアコンバータなど、既存のネットワーク（インターネット）につなぐためのポートです。

⑤初期化ボタン
ルータの設定内容を工場出荷時の状態に戻す（初期化する）ことができます。詳しくは「ルータを工場出荷時の状態に戻せますか？」（P.57）をご覧ください。

⑥ DC ジャック
付属の専用 AC アダプタをつなぐためのコネクタです。

DCジャックには必ず付属の専用ACアダプタをお使いください。

■底面

①スタンド

本商品を縦置きにするときに 90 度回転させてお使いください。

■左側面

①ゴム足

ルータを横置きにするときにお使いください。

②製品ラベル

商品名が記載されています。

③ファームウェアバージョンラベル

工場出荷時のファームウェアのバージョンが記載されています。

④シリアル番号ラベル

ルータのシリアル番号とリビジョンが記載されています。

⑤ IP アドレス（ルータ機能 ON）

ルータ機能ONのときのLAN側IPアドレスが記載されています。

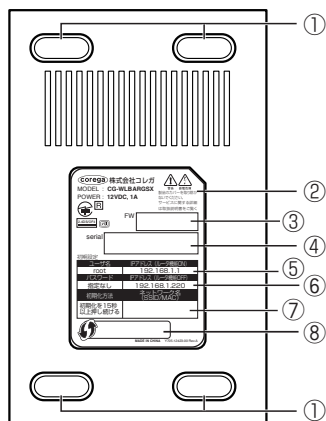
⑥ IP アドレス（ルータ機能 OFF）

ルータ機能 OFF のときの LAN 側 IP アドレスが記載されています。実際にはお使いの環境によって LAN 側 IP アドレスは変更されます。詳しくは、P.33の ❷ をご覧ください。

⑦ MAC アドレスラベル（SSID）

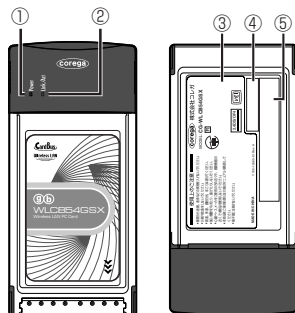
ルータの MAC アドレスが記載されています。MAC アドレスは SSID と兼ねています。

⑧初期 PIN コードラベル

ルータのネットワークキーが記載されています。詳しくは、P.24の手順 3 をご覧ください。

● CG-WLCB54GSX（CG-WLBARGSX-Pの場合）

■前面

① Power LED（緑）
　点灯：通信できる状態です。
　消灯：無線通信を停止しているか、正常にインストールされていない状態です。

② Link/Act LED（緑）
　点灯：リンクが確立しています。
　点滅：通信中です。
　消灯：無線通信を停止しているか、リンクしていないか、正常にインストールされていないかの状態です。

■背面

③製品ラベル
　商品名が記載されています。

④ MACアドレスラベル
　MACアドレスが記載されています。

⑤シリアル番号ラベル
　シリアル番号とリビジョンが記載されています。

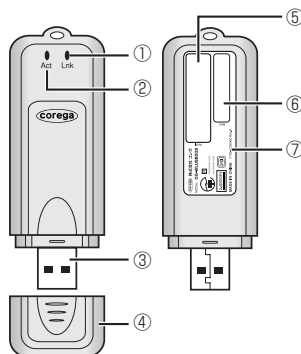
● CG-WLUSB2GS（CG-WLBARGSX-Uの場合）

■前面

① Lnk LED（緑）
　点灯：パソコンと接続している状態です。
　消灯：通信できていない状態です。

② Act LED（緑）
　点滅：通信中です。
　消灯：通信していない状態です。

③ USBプラグ
　パソコンのUSBポートに接続します。

④キャップ
　使用しないときに装着し、USBプラグを保護します。

■背面

⑤シリアル番号ラベル

シリアル番号とリビジョンが記載されています。

⑥ MAC アドレスラベル

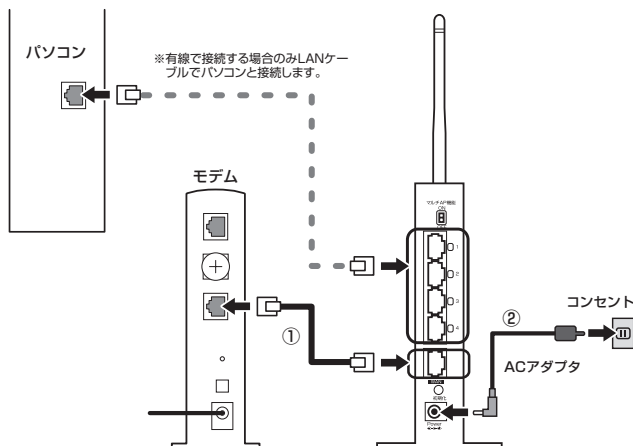
MAC アドレスが記載されています。

⑦製品ラベル

商品名が記載されています。

製品ラベルの 2.4DS/OF4 は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として DS-SS と OFDM 変調方式を採用、想定される干渉距離は40mであることを表します。また、周辺数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

ルータにモデムを接続する

図のようにルータをモデムに接続します。ルータをお使いになる前に、モデムにパソコンを接続して使用されていた場合は、モデムの電源を切り、30分ほど時間を空けてから接続してください。

1　ルータのWANポートとモデムのLANポートをLANケーブルで接続します（①）。

モデムのポート名は「LAN」「PC」「パソコン」「ENET」「Ethernet」など、機種によって異なります。

2　付属の専用ACアダプタを接続し、ルータの電源を入れます（②）。

3　前面のPower LEDが点灯し、Status LEDが点灯→消灯と変わり、ルータが起動したことを確認します。

ルータが起動するまでにおよそ2分程度かかります。ルータの起動が完了するまでしばらくお待ちください。

次からはお使いの環境により設定手順が異なります。次のフローチャートで手順を確認してください。

セット品（CG-WLBARGSX-P、CG-WLBARGSX-U）をご購入いただいた場合

↓

「無線LANアダプタのインストール（セット品のみ）」「無線アクセスポイントに接続する」 本書P.17～

↓

CG-WLBARGSX単品でご購入いただいた場合

- コレガの無線LANアダプタで接続する
- 他メーカの無線LANアダプタで接続する

↓

お使いの無線LANアダプタの取扱説明書をご覧になり、ルータ左側面の「ネットワーク名」をSSID、「初期PINコード」をネットワークキーとして接続します。

「ネットワーク名」
「初期PINコード」

↓

- Windows Vista/XPで接続する

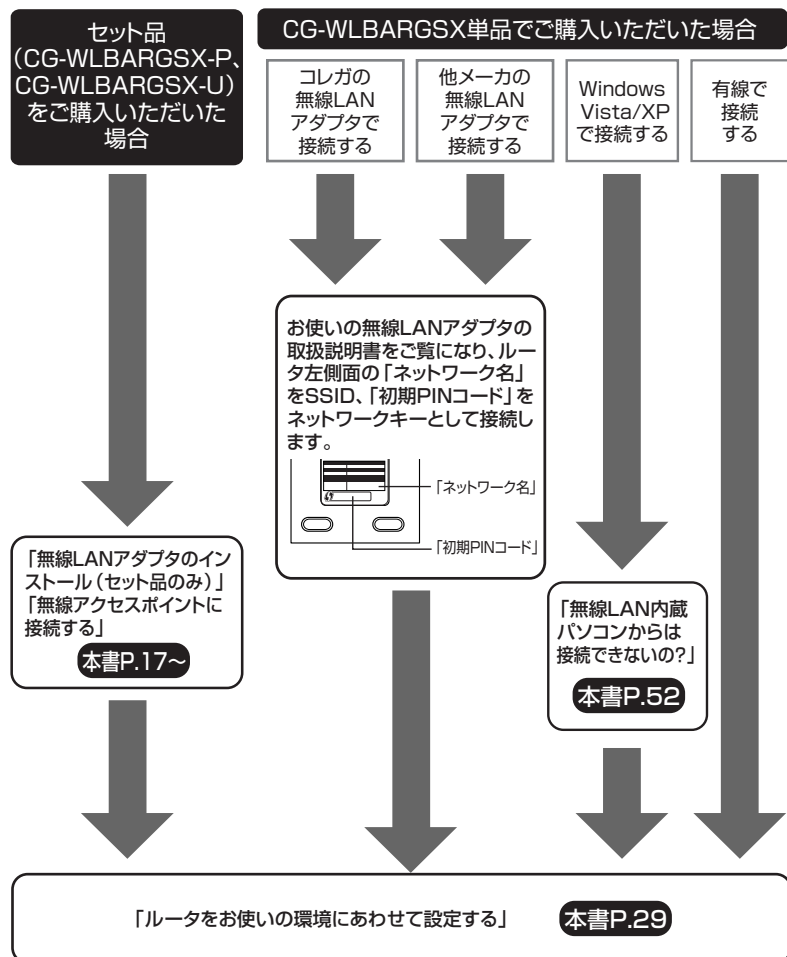
↓

「無線LAN内蔵パソコンからは接続できないの?」 本書P.52

↓

- 有線で接続する

↓

「ルータをお使いの環境にあわせて設定する」 本書P.29

有線、無線を問わずパソコンを複数お持ちの場合は、はじめの1台のみ「ルータをお使いの環境にあわせて設定する」（P.29）をご覧になり、ルータの設定を行います。2台目以降のパソコンはルータの設定を行う必要はありません。

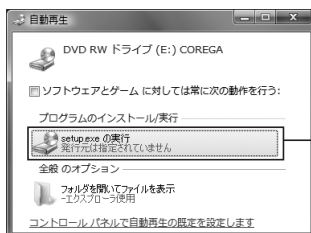
無線LANアダプタのインストール（セット品のみ）

セット品には付属の無線LANアダプタ（CG-WLBARGSX-PにはCG-WLCB54GSX、CG-WLBARGSX-UにはCG-WLUSB2GS）が付属しています。ルータとモデムの接続が完了したら、無線LANアダプタとルータを接続します。

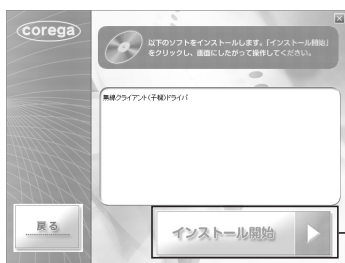
ウィルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、CD-ROMが起動しない場合があります。一時的に対策ソフトを停止してCD-ROMを起動してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。

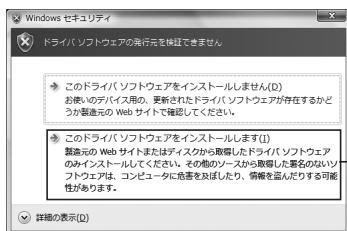
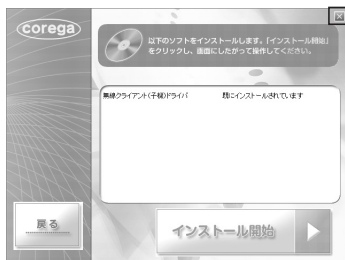
● Windows Vistaの場合

1　付属のユーティリティディスクをパソコンのDVD-ROM（CD-ROM）ドライブに入れます。

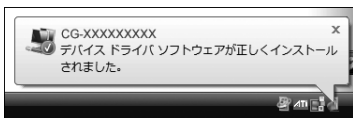
2　次の画面が表示されますので、「setup.exeの実行」をクリックします。

3　［かんたんスタート］をクリックします。

［かんたんスタート］をクリックします

4　［インストール開始］をクリックします。手順5の画面が表示されるまでお待ちください。

［インストール開始］をクリックします

お使いの環境によって次の画面が表示される場合があります。「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックしてお進みください（弊社にて動作を確認しています）。

5　「既にインストールされています」と表示されたら、画面右上の×をクリックして画面を閉じます。

6　お使いの無線LANアダプタをパソコンに取り付けます。

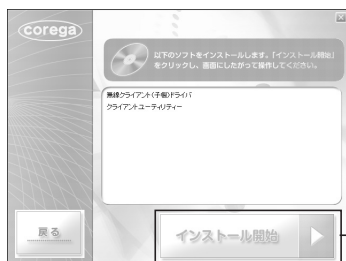
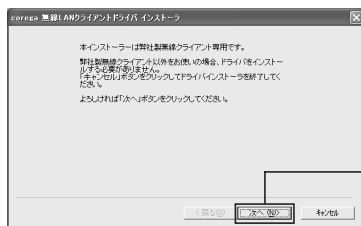
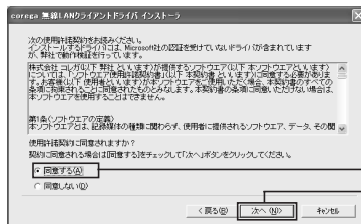
パソコンへの取り付け方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

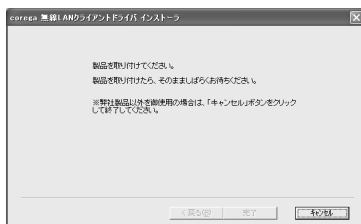
7　画面右下に次のように表示されるまでそのままお待ちください。

続いて無線アクセスポイントへの接続を行います。接続手順は「無線アクセスポイントに接続する」－「Windows Vistaの場合」（P.23）をご覧ください。

● Windows XP/2000の場合

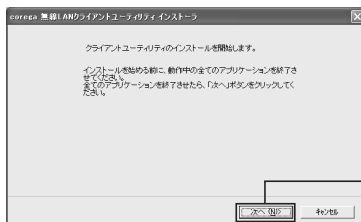
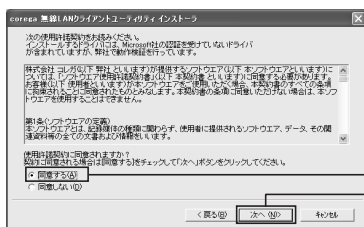
1　付属のユーティリティディスクをパソコンのDVD-ROM（CD-ROM）ドライブに入れます。

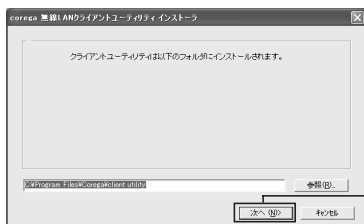
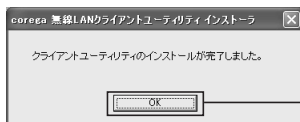
2　自動的に次の画面が表示されます（しばらく待っても表示されない場合は、「マイ コンピュータ」のCD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください）。［かんたんスタート］をクリックします。

[かんたんスタート]をクリックします

3　［インストール開始］をクリックします。

4　［次へ］をクリックします。

5　使用許諾契約をご覧になり、「同意する」を選択して［次へ］をクリックします。

6　お使いのパソコンに無線 LAN アダプタを取り付けます。

パソコンへの取り付け方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

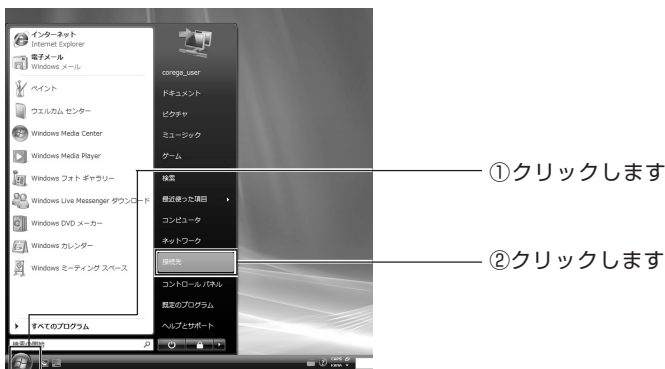
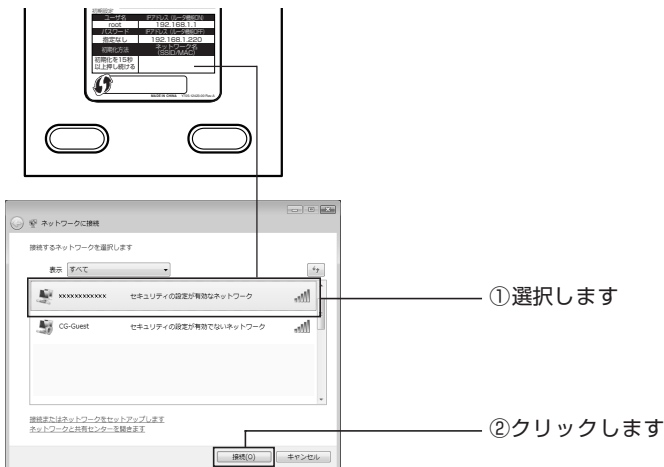
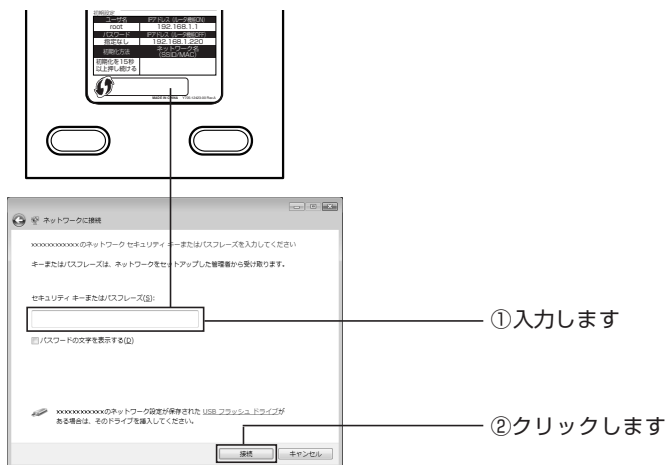
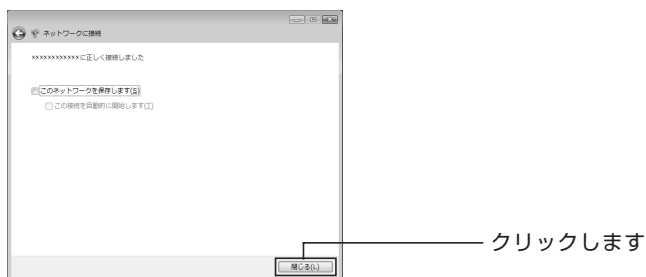
7　ドライバの読み込みがはじまります。次の画面が表示されるまでお待ちください。画面が表示されたら［完了］をクリックします。

8　引き続きクライアントユーティリティのインストールがはじまります。［次へ］をクリックします。

9 使用許諾契約をご覧になり、「同意する」を選択して［次へ］をクリックします。

10 ［次へ］をクリックします（クライアントユーティリティの保存先を指定する場合は、［参照］をクリックして保存先を指定します）。

11 クライアントユーティリティのインストールがはじまります。次の画面が表示されるまでお待ちください。表示されたら［OK］をクリックします。

続いて無線アクセスポイントへの接続を行います。接続手順は「無線アクセスポイントに接続する」－「Windows XP/2000 の場合」（P.25）をご覧ください。

無線アクセスポイントに接続する

● Windows Vistaの場合

1　パソコン画面左側から「スタート」アイコン－「接続先」の順にクリックします。

2　一覧からCG-WLBARGSXのSSID（ルータの左側面の「ネットワーク名」）を選択し、［接続］をクリックします。

3　「セキュリティキーまたはパスフレーズ」に「初期PINコード」(CG-WLBARGSXの左側面にあります) の値を入力し、[接続] をクリックします。

4　[閉じる] をクリックします。

お使いの環境によっては次の画面が表示されます。その場合は画面に従ってこの設定内容を使用する場所を選択します。

以上で設定は完了です。

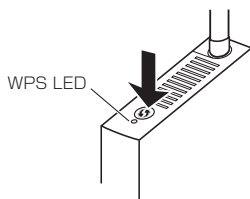
● Windows XP/2000 の場合

1 「無線クライアントユーティリティ」インストール直後の画面で［Wi-Fi Protected Setup で自動接続］をクリックします。

- WPS を使って接続しない場合は、「アクセスポイントを検索して接続する」（P.65）をご覧ください。
- この画面は「無線クライアントユーティリティ」のトップ画面から［プロファイルの管理］－［新規追加］をクリックして表示させることができます。

2

2　［プッシュボタンによる接続］をクリックします。

3　CG-WLBARGSX上面のWPSボタンを２秒以上押し、WPS LEDが緑色に点滅したことを確認します。

WPS LEDの動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。

（凡例）■：点灯　␣：消灯

5　[Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックします。

クリックします

信号を受信しやすいようにCG-WLBARGSXに近づけて行ってください。

6　アクセスポイントの検索がはじまります。

注意

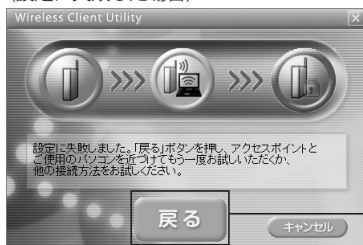
検索は2分間行ないますが、お使いの環境によって時間がかかる場合があります。

7　引き続き設定の読み込みがはじまります。

8　「設定完了」と表示されたら［閉じる］をクリックします。

クリックします

「設定に失敗しました」と表示された場合は、[戻る] をクリックし、はじめからやり直してください。

〈設定に失敗した場合〉

クリックします

9 「xxxxのアクセスポイントに接続しています」と表示されれば接続完了です。画面右上の×をクリックしてクライアントユーティリティとインストール画面を閉じます。

確認します

メモ

インストール後は、パソコンの画面右下のアイコンをクリックをすると、クライアントユーティリティを表示させることができます。

ルータをお使いの環境にあわせて設定する

本商品に接続された 1 台のパソコンから設定します。

ウイルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、ルータの設定が正しく行われない場合があります。一時的に対策ソフトを停止してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。

2

1　パソコンから Internet Explorer または Safari を起動し、設定画面を表示します（設定画面が表示されない場合はアドレス欄に「192.168.1.1」を入力し、Enterキーまたはreturnキーを押します）。

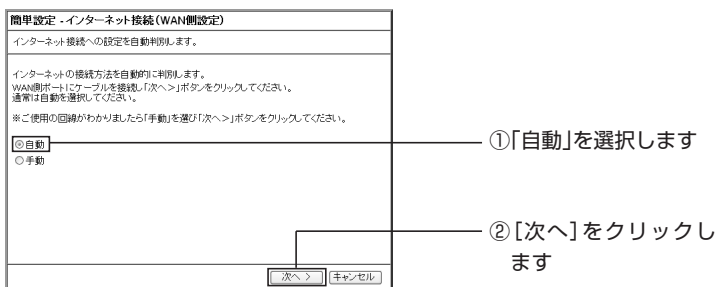
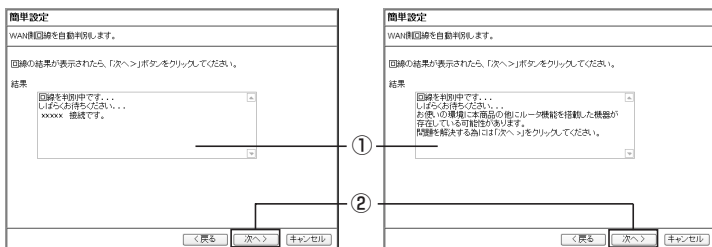
Internet Explorer 7 をお使いの場合は次のメッセージが表示されることがありますがそのままお進みください（弊社にて動作を確認しております）。

2　ユーザ名に「root」と入力し、パスワードに何も入力しないで［ログイン］をクリックします。

2

3　画面左側のメニューから「簡単設定」を選択します。

4　［次へ］をクリックします。

5　「自動」を選択し、［次へ］をクリックします。

6　お使いの回線の自動判別を開始し、結果が表示されます（お使いの環境によっては時間がかかる場合があります）。結果によって表示内容が異なり、次のどちらかの画面が表示されます。表示されない場合は、画面に従ってください。

①自動判別の結果が表示されるまで待ちます

②［次へ］をクリックします

③①での結果によって設定内容が異なります。お使いの環境に合わせて本書を読み進めます

- 「DHCP 接続」と表示された→手順 7（P.34）へ
- 「PPPoE 接続」と表示された
  →「PPPoE 接続の場合」（次ページ）へ
- 「ルータ機能を搭載した機器が存在する」と表示された
  →「ほかにルータがある場合」（P.33）へ

■「PPPoE 接続」の場合

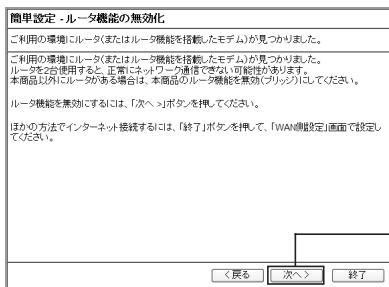
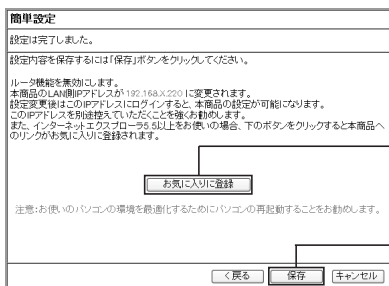
❶ プロバイダから送付された書類をご覧になり、「接続ユーザ名」、「接続パスワード」を入力して［次へ］をクリックします。

接続ユーザ名、接続パスワードは、プロバイダによって名称が異なります（認証 ID など）。プロバイダから送付された書類をご覧になり、入力してください。

❷ フレッツ・スクウェアをお使いの場合は地域を、お使いになっていない場合は「利用しない」を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ 手順 7（P.34）へお進みください。

■ほかにルータがある場合

❶CG-WLBARGSXのルータ機能を無効にします。［次へ］をクリックします。

❷ルータのIPアドレスを変更します。［お気に入りに登録］－［保存］の順にクリックします。

❸［OK］をクリックします。

❹パソコンを再起動します。

設定後は、設定画面を表示したいときに入力するIPアドレスが変更されます。Internet Explorerの「お気に入り」から設定画面を開いてください。

❺手順９（次ページ）へお進みください。

7　［保存］をクリックし、通信テストを行います。

8　接続テストが正常に行われたことを確認し、[終了]をクリックします。

接続テストが正常に行われなかった場合は、①に表示される内容を参考に設定をご確認ください。

ダイナミックDNSやバーチャルサーバ（ポート開放）の設定を続ける場合は、この画面の［詳しい説明書を入手する］をクリックし、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をダウンロードして、設定してください。

9　Internet Explorer または Safari を起動し、アドレス欄に「http://corega.jp/」を入力し、Enter キーまたは return キーを押します。

10 コレガホームページが表示されたことを確認します（画面は2007年4月現在のものです）。

以上で設定は完了です。

2

マルチ AP 機能を使う

CG-WLBARGSXには、本体背面のマルチAP機能スイッチを切り替えることによって、SSIDを2つ搭載することが可能です（工場出荷時の状態ではONになっています）。マルチAP機能スイッチをONにするとSSIDは2つ（ファーストSSIDとセカンドSSID）となり、それぞれ異なるセキュリティ設定をすることが可能です。携帯ゲーム機などをお使いになる場合は、マルチAP機能をお使いいただくと便利です。

ファーストSSIDとセカンドSSIDは権限が異なります。詳しくは「付録」ー「マルチ AP 機能について」（P.64）をご覧ください。

●マルチ AP 機能の基本接続

マルチAP機能の基本手順は次のとおりです。お使いの機器にあわせて設定してください。

1　ルータ背面のマルチAP機能が「ON」になっていることを確認します。

2　お使いになる機器から無線アクセスポイントを検索します。

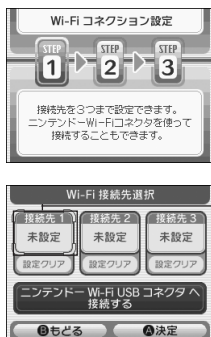
3　「CG-Guest」のSSIDを選択し、接続します。

●ニンテンドーDS® の設定

ニンテンドーDS® をお使いの場合は、次の手順で設定します。

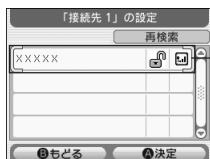
1　「Wi-Fi」または「Wi-Fiせってい」をタッチして「Wi-Fiコネクション設定」を表示します。

ゲームソフトによって、「Wi-Fiコネクション設定」を表示させる手順が異なります。お使いのゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

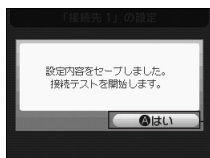
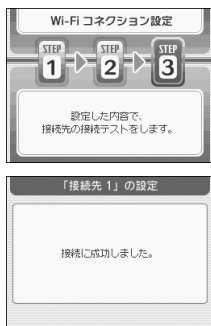
2　［Wi-Fi 接続先設定］をタッチします。

3　「未設定」の接続先をタッチします。

4　［アクセスポイントを検索］をタッチします。

2

5　一覧の中から「CG-Guest」をタッチします。

・セカンドSSIDを「CG-Guest」から変更した場合は、変更後の値をタッチしてください。

・🔒が表示されている場合は、WEPキー入力画面が表示されます。設定しているネットワークキーを入力します。

6　[はい] をタッチし、接続テストをはじめます。

7　「接続に成功しました。」と表示されたら設定完了です。

- 接続に失敗している場合は、正しいSSIDをタッチしていないか、WEPキーを誤って入力している可能性があります。手順3からやり直してください。
- セカンドSSIDはWEP（64/128Bit）のセキュリティを設定することができます。設定手順はCG-WLBARGSXの「詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）をご覧ください（「詳細設定ガイド」の入手方法はP.59で紹介しています）。

トラブル解決と Q&A

このPARTでは、お客様からトラブルのときによくお問い合わせのある質問を記載しています。回答が記載されていない場合はP61をご覧になり、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

ルータのトラブル

ルータの設定ができない

●セキュリティソフトが動作していませんか？

セキュリティソフトが動作していると、CG-WLBARGSXの設定ができない場合があります。設定する場合は、一時的にパソコンのセキュリティソフトの動作を停止させてください。停止方法はお使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。

ご購入時にすでにセキュリティソフトがインストールされていたパソコンはパソコンメーカへお問い合わせください。

●OSのファイアウォール機能が動作していませんか？（Windows Vista/XP SP2のみ）

OSのファイアウォール機能が動作していると、CG-WLBARGSXの設定ができない場合があります。次の手順で一時的にファイアウォール機能を停止させてください。

<Windows Vistaの場合>

1　［スタート］－「コントロールパネル」の順に選択します。

2　「セキュリティ」の「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。

3　「ユーザー アカウント制御」画面が表示されます。［続行］をクリックします。

4 「Windowsファイアウォールの設定」画面の「全般」タブを選択し、「無効（推奨されません）」にチェックを付けて［OK］をクリックします。

< Windows XP SP2 の場合>

1 「スタート」－「コントロール パネル」の順に選択します。

2 「セキュリティ センター」－「Windows ファイアウォール」（画面の下方にあります）の順にダブルクリックします。クラシック表示を使用している場合は、「Windows ファイアウォール」をダブルクリックします。

3 「Windows ファイアウォール」画面の「全般」タブを選択し、「無効（推奨されません）」にチェックを付けて［OK］をクリックします。

CG-WLBARGSXの設定が完了後、必ずWindows ファイアウォールの設定を元に戻してください。

●ダイヤルアップ接続の設定や LAN の設定がされていませんか？

次の手順で CG-WLBARGSX に接続するすべてのパソコンの Internet Explorer の設定をご確認ください。

1 Internet Explorer を起動し、「ツール」－「インターネットオプション」を選択して「接続」タブを選択します。

2 「ダイヤルしない」が選択されているか、グレーの表示で選択できない状態であることを確認します。

3 ［LANの設定］をクリックし、「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」画面を開いてすべてのチェックが外されていることを確認します。

4 「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」画面の［OK］をクリックして画面を閉じ、インターネットオプション画面の［OK］をクリックして画面を閉じます。

● Internet Explorer がオフラインになっていませんか？

Internet Explorer を起動し、「ファイル」メニューにある「オフライン作業」のチェックが外れているか確認します。チェックが付いている場合は、チェックを外します。

●パソコンの IP アドレスは自動取得になっていますか？

次の手順で IP アドレスの設定をご確認ください。

〈Windows Vista の場合〉

1　「スタート」アイコン－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」の順にクリックします。

「ネットワークとインターネット」が表示されていない場合は、「ネットワークと共有センタ」をクリックして手順2へお進みください。

2　画面左側から「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

3　無線でお使いの場合は「ワイヤレス ネットワーク接続」を、有線でお使いの場合は「ローカル エリア接続」を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

4　「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので、[続行] をクリックします。

5　「この接続は次の項目を使用します」の一覧から「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

6　「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。

7　[OK] または [閉じる] をクリックし、「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」－「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」(有線の場合は「ローカル エリア接続のプロパティ」) の順に画面を閉じます。

〈Windows XP の場合〉

1　「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット接続」－「ネットワーク接続」の順に選択します。

「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」を選択します。

2　無線でお使いの場合は「ワイヤレス ネットワーク接続」を、有線でお使いの場合は「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

3　「この接続は次の項目を使用します」の一覧から「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

4　「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。

5　[OK] または [閉じる] をクリックし、「インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ」－「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」(有線の場合は「ローカル エリア接続のプロパティ」) の順に画面を閉じます。

〈Windows 2000 の場合〉

1　「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」の順に選択します。

2　「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。

3　「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

4　「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

5　「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。

6　［OK］をクリックし、「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」－「ローカルエリア接続のプロパティ」の順に画面を閉じます。

〈Windows Me/98SE の場合〉

1　「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」の順に選択します。

2　「ネットワーク」をダブルクリックします。

Windows Me で「ネットワーク」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」を選択してください。

3　「TCP/IP->xxxxx（お使いのネットワークアダプタ名が表示されます）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4　「IP アドレス」タブを選択し、「IP アドレスを自動的に取得」が選択されていることを確認します。

5　［OK］をクリックし、「ネットワークのプロパティ」を閉じます。再起動を促すメッセージが表示された場合はパソコンを再起動します。

●Windows XP 用更新プログラム「KB893357」はインストールしていますか？

無線 LAN 内蔵パソコンからの接続のように、Windows XP に標準搭載されているワイヤレス ネットワークから接続する場合は、お使いの環境によって「次のネットワークにログインするのに必要な証明書が見つかりませんでした」と表示されます。その場合は、下記の URL から Windows XP 用更新プログラム「KB893357」をインストールしてください。

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=662BB74D-E7C1-48D6-95EE-1459234F4483&displaylang=jp

無線LANアダプタのトラブル

! 内蔵無線LANが搭載されているパソコンにドライバをインストールした

お使いのパソコンに内蔵無線LANが搭載されている場合は、無線LANアダプタのドライバをインストールする必要はありません。「クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」(PDFマニュアル)をご覧になり、ドライバの削除(アンインストール)をしてください。「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」の表示方法は、「もっと詳しい取扱説明書はないの?」(P.59)をご覧ください。

! ドライバをインストールしている途中でキャンセルしてしまった

●パソコンを再起動し、もう一度最初からやり直してください

ドライバをインストールしている途中でキャンセルをしてしまうと、ドライバが不完全な状態になり、無線LANアダプタを使用することができません。キャンセルをしてしまった場合はパソコンを再起動し、もう一度はじめからやり直してください。それでもインストールが完了できなかった場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

! 無線LANアダプタを取り付けたらパソコンが動作しなくなった

インストール画面で無線LANアダプタをパソコンに取り付けるよう画面が表示されます。インストールはお使いの環境によって処理に時間がかかる場合がありますので、そのまましばらくお待ちください。5分程度待っても画面が切り替わらない場合は、パソコンの電源を切り、無線LANアダプタをパソコンから取り外し、インストールをはじめからやり直してください。

パソコンに無線LANアダプタを取り付けたままWindowsをリカバリしてしまった

●「不明なデバイス」を削除してください

無線LANアダプタを取り付けたままリカバリをしてしまうと、無線LANアダプタの情報がパソコンに残ってしまいます。次の手順でドライバを削除し、一度無線LANアダプタを取り外してから、「無線LANアダプタのインストール（セット品のみ）」（P.17）をご覧になり、インストールをやり直してください。

〈Windows Vistaの場合〉

1　無線LANアダプタをパソコンに取り付け、「スタート」アイコンをクリックします。

2　「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3　画面左側から「デバイスマネージャ」をクリックします。

4　「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので、[続行]をクリックします。

5　「不明なデバイス」をダブルクリックします。

6　「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」をクリックします。

「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。

7　無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

〈Windows XPの場合〉

1　無線LANアダプタをパソコンに取り付け、「スタート」－「コントロールパネル」の順に選択し、「パフォーマンスとメンテナンス」－「システム」の順にダブルクリックします。

2 「ハードウェア」タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックします。

3 「不明なデバイス」をダブルクリックします。

4 「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」を選択します。

注意 **「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。**

5 無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

〈Windows 2000の場合〉

1 無線LANアダプタをパソコンに取り付け、「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」の順に選択し、「システム」をダブルクリックします。

2 「ハードウェア」タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックします。

3 「不明なデバイス」をダブルクリックします。

4 「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」を選択します。

注意 **「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。**

5 無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

●セカンドSSIDで設定された無線ネットワークではありませんか？

セカンドSSID（工場出荷時の状態では「CG-Guest」に設定されています）で設定された無線ネットワークではCG-WLBARGSXの設定が面を表示させることができません。ファーストSSID（工場出荷時の状態ではCG-WLBARGSX左側面の「ネットワーク名」に記載されています）で設定したパソコンまたは有線接続で表示させてください。

セキュリティの設定をしたら通信できなくなった

●接続する無線機器に同じ設定をしていますか？

セキュリティには無線グループのSSID、通信を暗号化するWEP、WPA、WPA2などがあり、通信するすべての機器に同じセキュリティが設定されていなければ通信することはできません。お使いの無線機器の取扱説明書をご覧いただき、同じセキュリティが設定されていることをご確認ください。

よくあるご質問

Q 無線LANのセキュリティは設定できるの？

A はい。設定できます。

CG-WLBARGSXは工場出荷時の状態から無線セキュリティの1つであるWPS-PSKが設定されています。無線LANアダプタの接続方法は、「無線アクセスポイントに接続する」（P.23）をご覧ください。また、WPA-PSK以外の無線セキュリティの設定は、CG-WLBARGSXおよび無線LANアダプタの「詳細設定ガイド」をご覧ください。

「詳細設定ガイド」の入手方法は、「もっと詳しい取扱説明書はないの?」（P.59）をご覧ください。

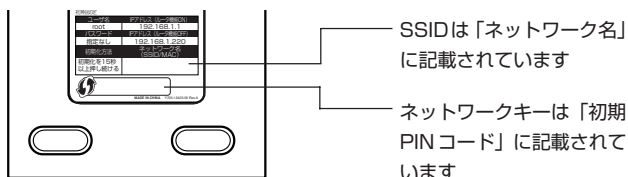
Q 接続するすべてのパソコンもルータの設定をしなければならないの？

A いいえ。設定は不要です。

無線で接続する場合は、CG-WLBARGSXと同じセキュリティを無線LANアダプタに設定して接続してください。有線で接続する場合は、CG-WLBARGSXの空いているLANポートとパソコンのLANポートをLANケーブルで接続してください。通信ができない場合は「ダイヤルアップ接続の設定やLANの設定がされていませんか？」（P.42）、「Internet Explorerがオフラインになっていませんか？」（P.43）、「パソコンのIPアドレスは自動取得になっていますか？」（P.43）の項目をご確認ください。

Q コレガ製品以外の無線LANアダプタは使えないの？

A 使用できます。

IEEE802.11gおよびbに対応している無線LANアダプタは使用できます。コレガ製品以外の無線LANアダプタから接続する場合は、お使いの無線LANアダプタ付属のソフトウェアから無線ネットワークを検索し、CG-WLBARGSXのSSIDとネットワークキーに接続する必要があります。CG-WLBARGSXの工場出荷時のSSIDはCG-WLBARGSXの左側面の「ネットワーク名」、ネットワークキーは「初期PINコード」に記載されておりますので、ソフトウェアからSSIDを検索し、ネットワークキーを入力して接続してください。

コレガ製品以外の無線LANアダプタの操作方法については無線LANアダプタのメーカへお問い合わせください。パソコン内蔵の無線LANアダプタの操作方法については、「無線LAN内蔵のパソコンからは接続できないの？」（本ページ）をご覧ください。

Q 無線LAN内蔵のパソコンからは接続できないの？

A 接続できます。

パソコンに内蔵されている無線LANアダプタがIEEE802.11gおよびbに対応している必要があります。また、Windows VistaとWindows XPの場合、接続にはOSに標準搭載されている機能を使用しますので、「コレガ無線LANユーティリティ」は使用しません。接続方法は次の手順をご覧ください。

● Windows Vistaの場合

「無線アクセスポイントに接続する」－「Windows Vistaの場合」（P.23）をご覧ください。

● Windows XPの場合

〈接続の前に〉

次の手順でWindows XPの「ワイヤレス ネットワーク」が有効になっていることを確認します。

お使いのパソコンに無線スイッチが搭載されている場合は、ONになっていることをご確認ください。無線スイッチについてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

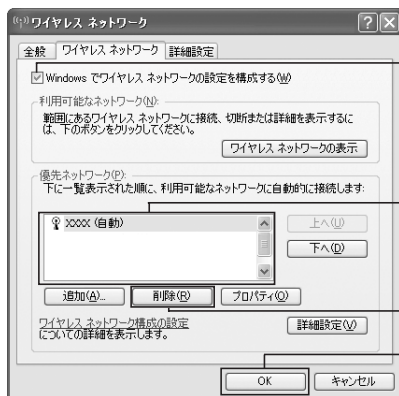
1　「スタート」－「コントロールパネル」の順に選択します。

2　「ネットワークとインターネット接続」を選択します。

「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」を選択します。

3　「ネットワーク接続」を選択します。

4　「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

5　「ワイヤレス ネットワーク」タブを選択し、「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが付いていることを確認します。チェックが付いていない場合は選択してチェックを付け、「優先ネットワーク」に表示されたすべてのネットワークを削除してから［OK］をクリックします。

メモ　**お使いの環境によっては、②は空欄になっている場合があります。**

〈接続の手順〉

「接続の前に」の手順を行ったあと、次の手順でCG-WLBARGSXと接続してください。

1　「スタート」－「コントロールパネル」の順に選択します。

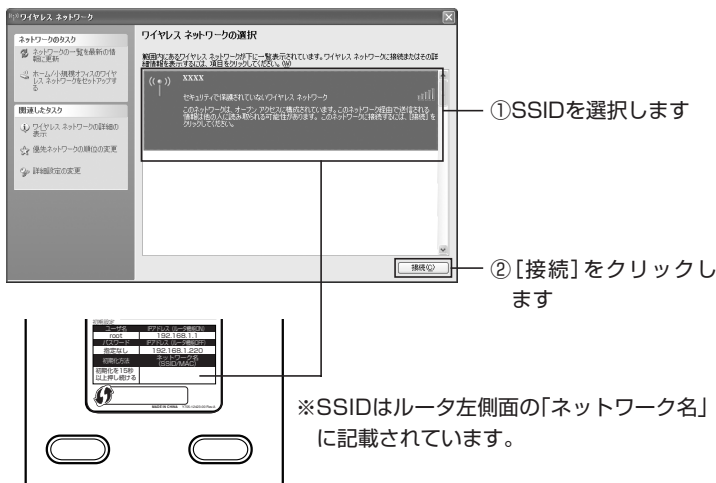
2　「ネットワークとインターネット接続」を選択します。

「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」を選択します。

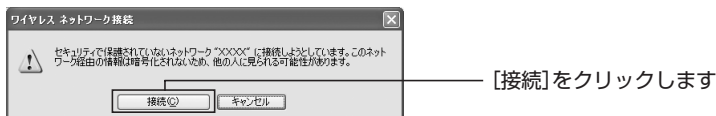
3　「ネットワーク接続」を選択します。

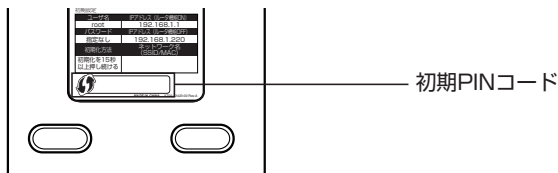
4　「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

5　「ワイヤレス ネットワーク」タブを選択し、[ワイヤレス ネットワークの表示］をクリックします。

6　「ワイヤレス　ネットワークの選択」から接続したいネットワークのSSID を選択し、[接続］をクリックします。

7　接続したいネットワークの環境によって画面が異なります。

■無線セキュリティが設定されていないネットワークの場合
[接続］をクリックします。

トラブル解決とQ&A

■WEP、WPA-PSK、WPA2-PSKが設定されているネットワークの場合
ネットワークキーを入力し、［接続］をクリックします。

CG-WLBARGSXの工場出荷時の状態では、ネットワークキーとして左側面の「初期PINコード」の値を入力してください。

8　接続が完了すると、「接続」と表示されます。

以上でCG-WLBARGSXへの接続は終了です。

ルータの設定が完了していない場合は、「ルータをお使いの環境にあわせて設定する」（P.29）をご覧ください。

Q ルータを工場出荷時の状態に戻せますか？

A はい。

CG-WLBARGSX を工場出荷時の状態に戻すには、次の手順を行ってください。

1 CG-WLBARGSXの電源が入っている状態で、クリップなど硬くて先の細いものを使用して、背面の初期化スイッチを15秒以上押し、離します。

2 Status LED が点滅します。

3 Status LEDが消灯し、CG-WLBARGSXが起動したことを確認します。

注意 **ルータが起動するまでにおよそ2分程度かかります。ルータの起動が完了するまでしばらくお待ちください。**

以上で CG-WLBARGSX が工場出荷時の状態に戻ります。

Q 無線 LAN アダプタの取り外し方法は？

A 「無線クライアントユーティリティ」を終了してから、無線LAN アダプタを取り外してください。

無線LANアダプタをお使いのパソコンから取り外す場合は、次の手順を行ってください。

● Windows Vista の場合

1 パソコンの右下のをクリックし、「CG-WLCB54GSX（またはCG-WLUSB2GS）を安全に取り外します」をクリックします。

トラブル解決とQ&A

2　安全に取り外せる旨のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3　無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

●Windows XP/2000の場合

1　パソコンの画面右下の をクリックし、「終了」を選択します。

画面右上の をクリックした状態では、「無線クライアントユーティリティ」は終了していません。

2　パソコンの画面右下の をクリックし、「CG-WLCB54GSX（またはCG-WLUSB2GS）を安全に取り外します」（お使いのOSにより、中止や停止という意味の内容になります）をクリックします。

3　安全に取り外せる旨のメッセージが表示されたら、 または［OK］をクリックします。

4　無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

Q　無線LANアダプタの設定画面を表示させる方法は？

A　「無線クライアントユーティリティ」の アイコンをクリックしてください。

「無線クライアントユーティリティ」をインストールすると、パソコンの画面右下に が表示されます。この をクリックすると設定画面を表示させることができます。

「無線クライアントユーティリティ」はWindows XP/2000のみに対応です。

Q 無線LANアダプタのアンインストール方法は？

A 付属の「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」をご覧ください。

CG-WLBARGSX-PまたはCG-WLBARGSX-Uに付属の無線LANアダプタのアンインストール方法は、付属のユーティリティディスク収録の「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」をご覧ください。

Q もっと詳しい取扱説明書はないの？

A はい。ご用意しております。

CG-WLBARGSXまたは無線LANアダプタの詳細な機能や使用方法については、次の手順で「詳細設定ガイド」をダウンロードしてご覧ください。

- 「詳細設定ガイド」をご覧いただくには、お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerがインストールされていない場合は、Adobeのサイトからダウンロードしてインストールしてください（Adobe Readerは無料でダウンロードできます）。
- 「詳細設定ガイド」をダウンロードするには、インターネットに接続する必要がありますので、インターネットへの接続に問題がないか、ご確認ください。

●コレガのホームページからダウンロードする

1　Internet ExplorerまたはSafariを起動し、アドレス欄に「http://corega.jp/」（「 」は不要です）と入力してEnterキーまたはreturnキーを押します。

2　「製品情報」から「無線LAN」を選択します。

3 「CG-WLBARGSX」または「CG-WLBARGSX-P」、「CG-WLBARGSX-U」のいずれかを選択し、「ダウンロード」をクリックします。

4 「詳細設定ガイド」を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択します。

5 ダウンロード完了後、保存した「詳細設定ガイド」をダブルクリックしてご覧ください。

予告なくコレガホームページのコンテンツを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

●ユーティリティディスクから見る（CG-WLCB54GSX、CG-WLUSB2GSのみ）

CG-WLCB54GSX または CG-WLUSB2GS の詳細設定ガイドは付属のユーティリティディスクからご覧になることができます。

1 付属のユーティリティディスク（CG-WLBARGSX-P または CG-WLBARGSX-Uのみ付属）をパソコンに入れ、画面が表示されたら［オプション］をクリックします。

2 ［マニュアルを読む〜詳細 PDF マニュアル］をクリックします。

3 「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）が表示されます。

お使いの環境によっては、Web ブラウザの中に PDF ファイルが表示される場合があります。その場合は、［保存］（フロッピーディスクの形をしたボタン）をクリックすると、「詳細設定ガイド」をパソコンに保存することができます。

トラブル・疑問が解決しないときは

本書に記載された手順以外の方法をコレガのホームページでお知らせしていることもありますので、あわせてご覧ください。

●コレガホームページ
　http://corega.jp/
●マニュアルをダウンロードしたいときは
　http://corega.jp/support/manual/
●「よくある問い合わせ」を見る
　http://corega.jp/faq/

ルータの設定が完了していない場合は、モデムにパソコンを直接接続してコレガホームページをご覧ください。

・製品のお問い合わせはメール、FAX、電話のいずれかを利用してお問い合わせください(弊社へのお持込によるお問い合わせは承っておりません)。また、サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます(This product is supported by Japanese only.)。
・本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版のOSのみ動作を保証しています。そのため、日本語版OS以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

メールでのお問い合わせ

メールでお問い合わせをご利用される場合は、あらかじめコレガのユーザズサイト「corePark」でユーザ登録が必要となります。

● corePark アドレス
http://corega.jp/support/inquiry/mailfaq.htm
受付けは24時間行っております。質問の回答は弊社営業日に随時メールにて行っております。

FAX でのお問い合わせ

●コレガサポートセンタ
FAX 番号：045-476-6294

コレガホームページよりダウンロードした「お問い合わせ用紙」をプリントアウトの上、必要事項をご記入ください。「お問い合わせ用紙」は次のURLからダウンロードできます。

●「お問い合わせ用紙」のダウンロード
http://corega.jp/support/inquiry/support_2.pdf

また、お問い合わせには次のことをお知らせください。
・製品名、型番
・ご購入日、ご購入店
・お客様のお名前、電話番号（連絡がかならずとれる番号）、FAX 番号
・ご利用のネットワーク環境の詳細（※ 1）
・トラブルの詳細（※ 2）

※ 1　ご利用のネットワーク環境の詳細で「モデムの製品名」「プロバイダ名」「回線卸業者（フレッツ、アッカなど）「IP 電話の使用の有無」「有線・無線 LAN アダプタの製品名」「（無線の場合）無線ルータまたは無線アクセスポイントから無線LANアダプタまでの距離」などの記入がない場合は的確な回答が難しくなります。お手数ではございますが、できるかぎり詳しくお知らせください。
※ 2　トラブルの内容が「マニュアルどおりに設定しても設定できない」という場合は、マニュアルのタイトル、設定できたページ範囲をお知らせください。

電話でのお問い合わせ

●コレガサポートセンタ

電話番号：045-476-6268

受付時間：10：00～12：00、13：00～18：00

（祝・祭日を除く月～金、ただし弊社指定休業日は除く）

電話でのお問い合わせには、おかけ間違いのないよう番号をお確めの上、お問い合わせください。

故障と思われる現象が生じた場合は、コレガのホームページよりダウンロードした「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項をご記入ください。「修理依頼用紙」は次のURLからダウンロードできます。

●修理依頼用紙のダウンロード

http://corega.jp/support/inquiry/support_3.pdf

●ご購入の販売店にお持ちいただくもの

・修理依頼用紙
・製品保証書
・製品の購入日が証明できるもの（レシートなど可）
・製品本体（ACアダプタなどの付属品一式を含む）

また、修理をご依頼する際は次のことにご注意ください。

・弊社へのお持込による修理は受け付けておりません。
・修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
・保証書に販売店の捺印がない場合は、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。
・製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

マルチ AP 機能について

CG-WLBARGSX は本体背面のマルチ AP 機能スイッチを切り替えることによって SSID を 2 つに分けることが可能です。

工場出荷時は「ON」に設定されています。

●マルチ AP 機能スイッチの状態と工場出荷時の SSID 値

マルチ AP 機能スイッチの状態によって SSID は次の表のようになります。

「マルチAP機能」スイッチの状態	SSIDの数	工場出荷時のSSID	
マルチAP機能 ON ↑ON OFF	2	ファーストSSID	ルータ左側面の製品ラベル内「ネットワーク名」に記載された値
		セカンドSSID	「CG-Guest」
マルチAP機能 ON ↓OFF OFF	1	ルータ左側面の製品ラベル内「ネットワーク名」に記載された値	

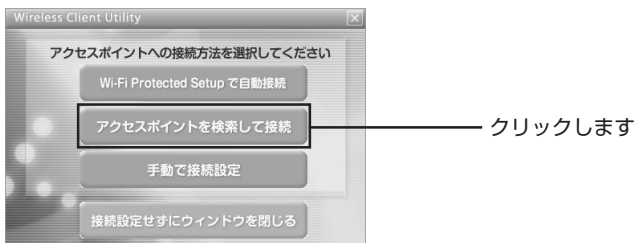
●マルチ AP 機能が「ON」のときの権限

ファースト SSID とセカンド SSID は次の表のように権限が異なります。

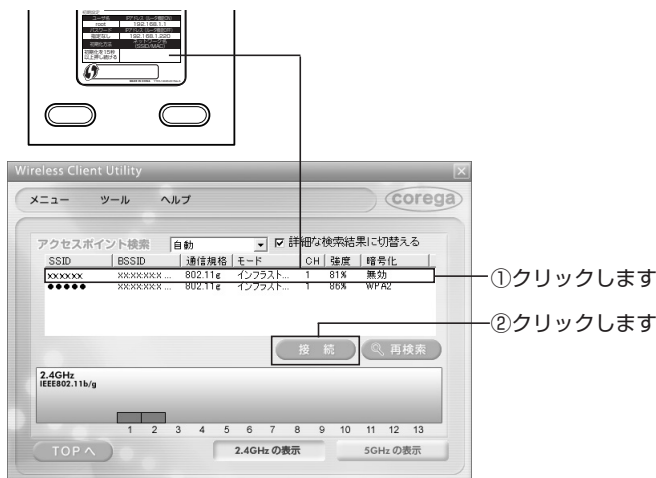
	設定画面の表示	インターネット接続	LANへの接続	設定できる無線セキュリティ
ファーストSSID	○	○	○	WEP（64/128/152bit）、WPA-PSK、WPA-EAP、WPS
セカンドSSID	×	○	×	WEP（64/128bit）

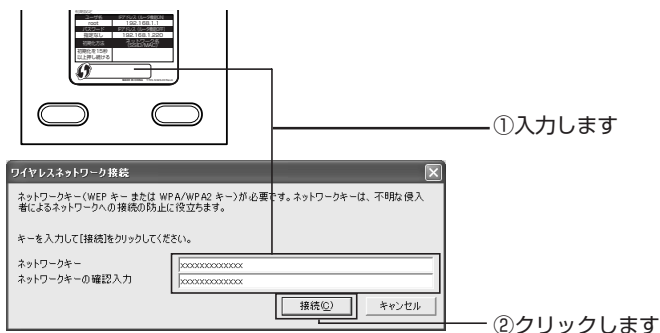
アクセスポイントを検索して接続する

アクセスポイントへを検索して接続する場合は、次の手順で接続してください。

1　［アクセスポイントを検索して接続］をクリックします。

2　お使いの環境で接続可能な無線アクセスポイントが表示されます（表示されない場合は、［再検索］をクリックします）。「詳細な検索結果に切り替える」をクリックします。

メモ　無線アクセスポイントの上にマウスポイントを乗せるとSSIDや暗号化などの情報が表示されます。この画面は左側に表示された無線アクセスポイントほど電波強度が高いことを示しています。

3　SSID欄からCG-WLBARGSXのSSID（CG-WLBARGSXの左側面の「ネットワーク名」をご覧ください）を選択し、［接続］をクリックします。

・暗号化の欄にWEP、WPA、WPA2が表示されている場合は、無線セキュリティが設定された無線ネットワークを示します。
・アクセスポイントが一覧に表示されない場合は、「ルータを工場出荷時の状態に戻せますか？」（P.57）をご覧になり、CG-WLBARGSXを工場出荷時の状態に戻してからもう一度［再検索］をクリックしてください。

4 「ネットワークキー」と「ネットワークキーの確認入力」に「初期PINコード」（CG-WLBARGSXの左側面にあります）の値を入力し、[接続] をクリックします。

5 「xxxxのアクセスポイントに接続しています」と表示されれば接続完了です。画面右上のをクリックして画面を閉じます。

CG-WLBARGSXの設定が完了していない場合は、「ルータをお使いの環境にあわせて設定する」（P.29）をご覧ください。

製品仕様

● CG-WLBARGSX

仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	WAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）
	LAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）/IEEE802.3x（Flow Control）
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
推奨ブラウザ		Internet Explorer 5.5以上、Safari 1.2以上
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11g/b] 2.412GHz〜2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11g/b] 13ch（1〜13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（アクセスポイントモード）
	アンテナ形式	着脱式ダイポール型アンテナ
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128/152bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP（エンタープライズ:IEEE802.1X認証）、WPA2-EAP（エンタープライズ:IEEE802.1X認証）、 TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む）、802.1X-WEP（ダイナミックWEP対応）、 ステルスAP（SSID名隠蔽、ANY拒否）、MACアドレスフィルタリング、 ワイヤレスパーテーション（無線端末＜＝＞有線端末、無線端末＜＝＞無線端末間通信の有効／無効）
WAN仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×1ポート（MIDI/MDI-X自動認識）
LAN仕様	規格	100BASE-TX/10BSE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×4ポート（MDI/MDI-X自動認識）
電源部（ACアダプタ）	定格入力電圧	AC100V（50/60Hz）
	定格入力電流	500mA
最大消費電力		4.8W
環境条件	動作時	温度：0〜40℃／湿度：90%以下（結露なきこと）
	保管時	温度：−20〜60℃／湿度：95%以下（結露なきこと）
外形寸法		138（W）×86（D）×26（H）mm 本体のみ（アンテナ／ゴム足／突起部を含まず）
質量		170g 本体のみ

工場出荷時の設定

管理者設定	ユーザ名	root
	パスワード	設定なし
	システム名	CG-WLBARGSX
ネットワーク設定	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
ワイヤレス基本設定	通信モード	Infrastructure
	SSID	本体左側面「ネットワーク名」に記載
	チャンネル	自動設定
	暗号化	WPA-PSK（セキュリティキーは「初期PINコード」に記載）
マルチAPスイッチ		ON

● CG-WLCB54GSX

仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	PCインタフェース	PC Card Standard（Card Bus） TypeII準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V
対応OS		Windows Vista/XP/2000
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11g/b] 2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11g/b] 13ch（1～13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure/Ad-Hoc
	アンテナ形式（タイプ）	PCBアンテナ×2（ダイバシティ方式）
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1X認証）、 WPA2-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1X認証）、 TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む） 802.1X-WEP（ダイナミックWEP対応）
電源部	供給方法	PCカードインタフェースから供給
	定格入力電圧	DC3.3V
待機時消費電流		53mA
最大消費電流		378mA
最大消費電力		1.3W
環境条件	動作時	温度：0～55℃／湿度：95%以下（結露なきこと）
	保管時	温度：−20～65℃／湿度：95%以下（結露なきこと）
外形寸法		54（W）×118（D）×7（H）mm（突起部：54（W）×34（D）×7(H)mm）
質量		40g

工場出荷時の設定

通信モード	インフラストラクチャー
チャンネル	自動設定
Superモード	有効
eXtended Range	有効

● CG-WLUSB2GS

仕様

サポート規格	無線LAN	(国際規格) IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		(国内規格) ARIB STD-T66
	PCインタフェース	USB 2.0/1.1準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V
対応OS		Windows Vista/XP/2000
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11g/b] 2.412GHz〜2.472GHz (中心周波数表示)
	チャンネル数	[IEEE802.11g/b] 13ch (1〜13ch)
	伝送速度	[IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重変調方式)、DS-SS (直接拡散型スペクトラム拡散方式)
	通信モード	Infrastructure/Ad-Hoc
	アンテナ形式 (タイプ)	チップアンテナ (シングルアンテナ方式)
	セキュリティ	SSID (IEEE802.11 : ID (文字列) による識別)、WEP (64/128/152bit)、 WPA-PSK (パーソナル)、WPA2-PSK (パーソナル)、 WPA-EAP (エンタープライズ : IEEE802.1X認証)、 WPA2-EAP (エンタープライズ : IEEE802.1X認証)、 TKIP/AES (WPA/WPA2の設定内に含む) 802.1X-WEP (ダイナミックWEP対応)
電源部	供給方法	USBインタフェースから供給 (バスパワー)
	定格入力電圧	DC5V
最大消費電流		472mA
最大消費電力		2.4W
環境条件	動作時	温度 : 0〜40℃/湿度 : 90%以下 (結露なきこと)
	保管時	温度 : −20〜60℃/湿度 : 95%以下 (結露なきこと)
外形寸法		29 (W) ×82 (D) ×13 (H) mm本体のみ (キャップ含まず)
質量		16g 本体のみ (キャップ含まず)

工場出荷時の状態

通信モード	インフラストラクチャー
チャンネル	自動設定
Superモード	有効
eXtended Range	有効

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本商品は、GNU General Public License Version 2に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundationが定めたGNU General Public License Version 2の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行ないません。詳細についてはコレガホームページ内の「GNU一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

2007年４月　初版